

東中アイスホッケー全国制覇

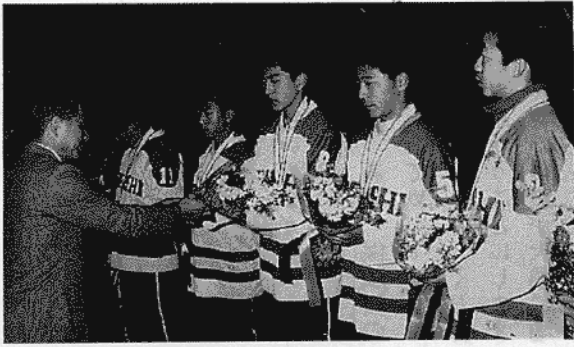
第七回全国中学校スケート競技大会

二月四日から七日まで、山梨県富士吉田市で開かれていた「第七回全国中学校スケート競技大会」アイスホッケー競技で、東中チームが、見事初優勝を飾りました。

同大会には、全国各地から勝ち抜いた選抜十チームが参加して行われたもので、日光市から、東中、中宮祠中の二校が出場。

池田県アイスホッケー連盟

副会長から選手に花束が



東中チームは、初戦の準々

決勝で、苫小牧明倫(北海道)を四対二、準決勝で軽井沢(長野)を六対二で破り、決勝に進出。決勝戦では、釧路市立大桑毛(北海道)を三対二の接戦で下し、県勢として初めて全国制覇を成しとげました。

大会を終え、六日午後六時四十分日光に着いた東中チームは、市民約百五十人に迎えられ、市役所前広場での優

勝祝賀式へ。

祝賀式では、上吉原助役が出張先から届けられた市長のメッセージを読みあげ、高橋哲之主将が「みなさんのお陰で念願の全国制覇ができました。これからも練習して頑張ります」と、お礼の言葉を述べました。

日光のチームが、全国制覇したのは、昭和五十四年にインターハイで日光高校が優勝して以来のことです。

氷上で熱戦

小中学校氷上体育大会

第三十三回目の「日光市小

中学校氷上体育大会」が、二月十二日、日光電工リンク、細尾パイピングリンクの両会場で開催されました。

日光電工リンクのアイスホッケー部門は、小学校が四校のトーナメント戦、中学校が三校のリーグ戦で争われ、チビ子の熱い戦いが繰り広げ

られました。

細尾パイピングリンクのフイギユア部門は、小学四年生以上の女子ばかり二十二人が参加、日ごろ練習した演技を披露しました。

なお、二月二十三日に行われたスピード部門は、広報につきう四月号でお知らせします。

アイスホッケー

(小学校の部) (一回戦)

日光 5 2-1-2
清滝 3-1-0

安良沢 5 2-1-0
中宮祠 2-0-0

(決勝戦)

日光 5 2-1-0
安良沢 3-1-1

(二位決定戦)

清滝 7 4-1-1
中宮祠 2-1-0

(中学校の部)

東 5 2-1-3
日光 3-1-0

日光 6 1-1-3
中宮祠 3-1-0

東 7 3-1-2
中宮祠 2-1-1

フイギユア

◎コンパルスリ (四年)

①金子直美(清滝) ②小林照子(清滝) (五年) ①北原真由美(日光) ②尾崎佳奈子(日光)



清滝 (六年) ①青山泰子(日光) ②岡崎陽子(日光) (中学一部) ①小平真由美(日光) ②小林鈴子(日光) (中学二部) ①星野エリ子(日光) ②松本利江(東)

◎フリー (小学校の部) ①金子直美(清滝) ②小林照子(清滝) (中学校の部) ①小平真由美(日光) ②渡辺友美(日光)

(日光)